



## 第36回定期総会を開催

9月28日、CSAは第36回定期総会を東京千代田区の連合会館で開催し、来賓、常任理事、評議員、支援組織代表者等37名が出席しました。大木常任理事の司会で開会し、冒頭に初代連合会長、CSA顧問でもあった故山岸章さんに黙祷を捧げた後、議長として梅田常任理事が選出され、議事進行を行いました。次に吉井会長の挨拶、連合より南部副事務局長、駐日ラオス大使館よりラカワン書記官から来賓挨拶を受けました。

続いて、山岡事務局長が2015年度事業報告、同会計報告を行い、堀監事が同会計監査報告を行い、それぞれ確認されました。さらに、事務局長が2016年度事業計画と同予算案を提

案し、決定されました。さらに、倉田常任理事が役員改選について、会長が顧問の委嘱について提案し、それぞれ承認されました。最後に、梅田議長の退任挨拶、大木常任理事の閉会挨拶で総会を終えました。



総会風景

## 会長挨拶

第36回定期総会に出席いただきました役員ならびに代議員そして傍聴者の皆さん、大変ご苦勞様です。

日頃より、アジア連帯委員会（CSA）の活動に対して、ご理解と、ご協力をいただき心から感謝申し上げます。また、来賓としてご臨席を賜りました、連合の南部副事務局長、在日ラオス大使館のラカワン書記官におかれましては、大変お忙しい中にも拘わらず私共のために時間をおとりいただき、誠に有難うございました。日頃のご支援・ご協力と併せて、心からお礼を申し上げます。

後ほど、連帯と激励のご挨拶を賜りますよう、宜しくお願いいたします。

昨年9月28日に開催しました、第35回定期総会で決定していただきました「2015年度事業計画」に基づいてこの1年間、評議員会と常任理事会で具体化の検討を行いながら活動を進めてきました。「救援衣類を送る運動」「ラオス初等教育改善としての・・・学校建設および補修」「ラオス高等教育改善としての・・・高校生寮支援」の3事業を柱として、多くの皆さんからの協力を得ながら、活動を進めることが出来ました。詳細は、この後、事務局長からの「2015年度事業報告」に委ねますが、私からは次の3点について、今後の方針の一端も含めて述べ、挨拶とさせていただきます。

### 第1点目は、「救援衣類を送る運動」についてです。

昨年10月9日の国内集荷締切りで実施しました、「第32次救援衣類を送る運動」は、前年度（第31次）とほぼ同量の段ボールにして約8,800個を集約し、タイとラオスに送ることが出来ました。

併せて、一昨年からお願いしてきました「救援衣類の提供と海外輸送費の募金をセットとした」取り組みも、2014年度の702万円に次ぐ666万円を超える多額のご協力を得ることが出来ました。この金額は、第32次救援衣類の海外輸送費総額の約78%に当たります。改めて、ご賛同いただきました団体および個人の皆様方に心よりお礼を申し上げます。

今回から募金の目安金額を、段ボール箱のサイズに応じて2区分に設定していた従来の方式から、「段ボール1個につき1,000円」に一本化させていただきたいと考えています。「出来るだけシンプルな方法に」との関

係者からのご意見に対応させていただく事が主な目的です。

また、従来からお願いしています「衣類の提供と海外輸送費募金のセットでの取り組み」に加えて、「海外輸送費募金単独での取り組み」への一層の協力もお願いしたいと考えています。

### 第2点目は、小学校の建設と補修についてです。

2015年度も、資金的な事情により新しい小学校建設にかかわる準備を含めての取り組みは見送らざるを得ず、既設校の補修にとどまりました。

具体的には、4番目校のソムサバット村小学校（1998年建設）の屋根・天井等の補修を昨年9月末に終了し、本年5月に同校を訪問し確認しました。

J P 労組東京地本の寄贈校であります14番目校のシェンレーナ村小学校（2004年建設）は、昨年2月に実施したJ P 労組東京地本関係者との「ラオス訪問調査」時に学校から要請を受けた井戸掘り工事、屋根・天井の補修を、J P 労組東京地本からの資金提供の下で実施しています。

1月に実施した「ワーキング・スタディ・ツアー」での訪問時に要請を受けた、コンケオ村小学校（3番目校、1997年建設）の屋根・天井等の補修は、当方から必要な材料を提供し、父兄の皆さんの労力提供で進めています。

なお、24番目校（ファサン村小学校、2014年建設）の寄贈団体であります基幹労連と、先ほど報告しました14番目校（シェンレーナ村小学校）のJ P 労組東京地本からは、当該校の将来の補修費に充てることを目的として定期的に資金の積み立てをしていただく事になりました。

C S A の財政状況からして、残念ながら自前での学校建設には一定の期間を要すると言わざるを得ません。従いまして、当面は老朽度合に応じた既設校の補修を優先しながら、一方で新規建設のための資金を蓄えたいと考えています。

### 第3点目は、サンティパープ高校生寮の支援についてです。

建設し提供を開始してから14年目を迎えたサンティパープ高校生寮は、1学年30名・計90名の遠隔地出身の入寮生とその家族にとって、欠く事のできない存在となっています。卒寮生は総じて成績優秀で、中には大学に進学後日本に留学するケースも見られます。本年も3名の卒寮生が留学生として来日し、1年間の日本語研修を済ませた後に全国3か所の高等専門学校への編入が予定されています。将来のラオスを担う人材育成に私たちの活動は少なからず貢献していると言えます。

寮の運営面では、「食費の10%増」を織り込んで、昨年、県・高校・C S A の3者間で調印した、2018年6月末までの3年契約の2年度目として対応していきます。設備面では、本年5月の卒寮式に出席の際に寮から要請を受けた、電気配線・天井の補修、外壁塗装用の塗料の提供等を行いました。

本日の定期総会では、「2016年度の事業計画」と、その裏づけとなる「2016年度予算」を中心に協議していただくこととなります。

限られた時間ですが、代議員の皆さんからの忌憚のないご意見により、方針を補強して頂き、アジア連帯委員会（C S A）が皆さんと一体となって活動を進められることを心からお願いし、挨拶とさせていただきます。

（吉井眞之）

## 「第33次救援衣類を送る運動」7,709箱集約

10月3日～7日、大井倉庫に全国から送られてきた中古衣類は、ダンボール箱7,709箱、40fコンテナ14本に達しました。

ラオス向け衣類は、10月10日に東京を出港し、10月26日にバンコク港に到着、陸路ラオスの保健省衣類倉庫へ輸送されました。また、タイ向けは、10月16日に東京を出港し、11月2日にバンコク港に到着、タイ社会福祉省衣

類倉庫へ搬入されました。今後は、それぞれの省庁を通して恵まれない人々に配布される予定です。

第33次の取り組みでは、衣類提供の場合は、1箱につき1,000円を目安に輸送募金へのご協力をお願いしています。衣類を提供されない場合も、運動の趣旨に賛同する支援組織や支援者に輸送募金のご協力をお願いしています。

参考：「第32次救援衣類を送る運動」昨年(2015年度)の集荷量、輸送費、輸送募金額  
 集荷量：8,847箱(165トン)、40fコンテナ16本、輸送費：¥8,530,489  
 輸送募金総額：¥6,664,785(輸送費の78.1%)



ラオスの倉庫へ搬入



タイの倉庫へ搬入

## ラオスでの小学校建設・補修

### ～コンケオ村小学校(3番目校)の屋根修理～

1月18日、2016年ワーキング・スタディ・ツアーメンバーは、コンケオ村小学校を訪問し、小学生や教師と折り紙教室や綱引き等で交流を図りました。校舎は、老朽化で廊下の天井が剥がれ、雨漏りがしていたので、校長よりスレート瓦での屋根補修について強い要望を受けました。8月に、コンケオ村小学校へ屋根補修材料が届けられ、村人による補修作業が行われています。



補修前のコンケオ村小学校

### ～ソムサバット村小学校(4番目校)屋根修理～

2015年5月に屋根修理の材料費を送ったソムサバット村小学校の補修について、9月28日、現地コーディネーターより補修が終了したとの報告がありました。

2016年5月16日、山岡事務局長は、ソムサバット村小学校を訪問し、屋根と天井、外壁塗装工事が終了していることを確認し、校長より郡と村からのCSAへの感謝状を受け取りました。



補修後のソムサバット村小学校



感謝状を受け取りました

## サンティパープ高校生寮

### ～卒寮式～

5月18日、山岡事務局長は、高校生寮を訪問し卒寮式（第11期生30名）に出席、卒寮生に記念品を、全国試験成績優秀者4名にお祝いの品を手渡しました。校長は、「毎年この時期に卒寮式ができるので、寮生の励みになっている。心からCSAに感謝している」と挨拶しました。



卒寮生

### ～寮の補修～

同日、山岡事務局長は、高校生寮担当教師と意見交換しました。校長から「老朽化した寮の配線・天井補修工事、外壁塗装のためのペンキがほしい」等の要望が出され、寮内を視察してそれらの必要性を確認しました。6月10日、寮の配線工事・補修材料費等を送り、7月26日、寮より補修工事の進捗状況について報告がありました。



補修後の寮

## 2016年ワーキング・スタディ・ツアー

1月16日～23日、2016年ワーキング・スタディ・ツアーを実施し、9名の参加者がCSAの現地事業を視察するとともに、訪問先の人々と交流しました。

ラオスでは、保健省の衣類倉庫、コンケオ村小学校（3番目校）、ポンサイ村小学校（7番目校）、サンティパープ高校生寮を訪問。タイでは、ウドンタニ貧困者保護センターで救援衣類引渡し式に出席するとともに、社会開発福祉省の衣類倉庫を訪問しました。タイとラオスでは救援衣類配布状況を把握し、ラオスでは寄贈した小学校と高校生寮の視察・交

流を通じてCSA事業の概要を確認しました。

参加者は、訪問先の記録、アンケート等を提出し、「2016年ワーキング・スタディ・ツアー報告書」を作成しました。アンケートでは、①中古衣類が現地の必要としている人々に届く迄の流れを自分の目で確認できた。②CSAの活動を必要としている人々が多くいることがわかった。③訪問先で現地の人と意見交換や交流ができた。④参加組織の支援への思いや取り組み等について情報交換ができたのでよかった等の感想をいただきました。



寄贈校の視察



タイでの衣類引き渡し式

# 募金者名・募金額の報告

期間：2015年11月1日～2016年10月31日

(順不同)

## 《輸送募金》

〈個人名〉

阿部寛	子泉	様	古波	蔵	咲	子	様	星	野	明	子	様	藤	本	和	男	様
安部	泉子	様	甲荒	田井	卓耕	也美	様	生西	野貴	貴文	子香	様	鵠二	田宮	朱淑	悟里	様
伊井	美明	様	高高	井橋	耕哲	誠子	様	西西	野山	井友	誠二	様	梅白	村井	淑祥	子子	様
井井	夫美	様	高国	橋杉	祐千	子富	様	西青	山山	美由	紀美	様	白迫	井川	智道	子澄	様
井井	治子	様	今今	嶋又	祐千	子惠	様	石石	井里	一惠	子一	様	畑畑	井井	真真	子江	様
井井	枝代	様	佐佐	分井	宏直	美幹	様	石石	橋戸	省隆	之允	様	畑畑	中喜	代明	子子	様
磯村	雄代	様	佐藤	川々	木	順子	様	石赤	川尾	知順	子男	様	飯飯	島鶴	鶴路	子子	様
影永	義理	様	笹三	藤沼	ほ由	美花	様	石浅	利智	武津	子リ	様	尾布	高崎	マ恵	子子	様
永永	り治	様	三三	好谷	里千	子子	様	前増	原ゆ	か悦	子子	様	風福	施千	留頭	子子	様
塩塩	子子	様	三三	丸澤	智育	子子	様	足足	立ほ	う真	子子	様	兵平	福井	田木	子子	様
奥奥	子子	様	三三	み悦	悦	子子	様	大大大	西川	俊晶	子子	様	平並	里具	村政	子子	様
横下	子子	様	山山	口口	一政	子子	様	大大大	村木	野明	子子	様	並月	具村	野美	子子	様
加加	子子	様	山山	口口	直揚	子子	様	大大大	野野	合知	子子	様	望北	野奈	紀渥	子子	様
夏夏	子子	様	山山	川川	栄	子子	様	丹丹	藤岡	恵節	子子	様	北北	野野	江野	子子	様
河河	子子	様	山山	田田	さ初	子子	様	池池	松丸	神里	子子	様	堀堀	堀末	明見	子子	様
皆皆	子子	様	山山	田田	敦理	子子	様	中中	川川	万佳	子子	様	堀堀	明木	木目	子子	様
梶梶	子子	様	山山	田田	慎辻	子子	様	中中	野野	佐代	子子	様	堀堀	木目	野林	子子	様
葛葛	子子	様	山山	田田	幸崇	子子	様	中中	野野	悟庸	子子	様	堀堀	木目	野林	子子	様
関関	子子	様	山山	田田	美孔	子子	様	中中	野野	恭光	子子	様	堀堀	木目	野林	子子	様
岩岩	子子	様	山山	田田	隆夜	子子	様	中中	野野	朱敬	子子	様	堀堀	木目	野林	子子	様
菊菊	子子	様	山山	田田	子子	子子	様	中中	野野	正香	子子	様	堀堀	木目	野林	子子	様
吉吉	子子	様	山山	田田	和雅	子子	様	中中	野野	妙上	子子	様	堀堀	木目	野林	子子	様
吉吉	子子	様	山山	田田	美恵	子子	様	中中	野野	矢ろ	子子	様	堀堀	木目	野林	子子	様
橋橋	子子	様	山山	田田	江美	子子	様	中中	野野	な紀	子子	様	堀堀	木目	野林	子子	様
宮宮	子子	様	山山	田田	矢美	子子	様	中中	野野	智健	子子	様	堀堀	木目	野林	子子	様
宮宮	子子	様	山山	田田	薫正	子子	様	中中	野野	孝	子子	様	堀堀	木目	野林	子子	様
橋橋	子子	様	山山	田田	水	子子	様	中中	野野		子子	様	堀堀	木目	野林	子子	様
橋橋	子子	様	山山	田田		子子	様	中中	野野		子子	様	堀堀	木目	野林	子子	様
金金	子子	様	山山	田田		子子	様	中中	野野		子子	様	堀堀	木目	野林	子子	様
兼兼	子子	様	山山	田田		子子	様	中中	野野		子子	様	堀堀	木目	野林	子子	様
犬犬	子子	様	山山	田田		子子	様	中中	野野		子子	様	堀堀	木目	野林	子子	様
見見	子子	様	山山	田田		子子	様	中中	野野		子子	様	堀堀	木目	野林	子子	様
古古	子子	様	山山	田田		子子	様	中中	野野		子子	様	堀堀	木目	野林	子子	様
古古	子子	様	山山	田田		子子	様	中中	野野		子子	様	堀堀	木目	野林	子子	様

個人合計 ¥466,390



日産テクノ労働組様  
 日産自動車労働組様  
 日産部品販売労働組様  
 日産労働連様  
 日産労働連・部労働ビヨンス労働組様  
 日産労働連フコク労働組様  
 日清オイリオグループ労働組様  
 日放労働系列様  
 日本アンテナ労働組様  
 日立オートモティブシステムズメンバメント労働組様  
 不二サッシュユニオン本社支部様

JP労働組東海地方本部名古屋神宮支部様  
 JP労働組東海地方本部名古屋西部支部様  
 富士通システムズ・イースト労働組様  
 北陸電力労働組加南分会様  
 北陸電力労働組志賀原子力分会様  
 北陸電力労働組七尾分会様  
 北陸電力労働組手取分会様  
 北陸電力労働組石川中央分会様  
 味の素労働組研究所支部様  
 (有)勤労働者旅行会様  
 連合茨城様

団体合計 ¥6,897,499

輸送募金個人・団体合計 ¥7,363,889

《学校建設・補修募金》

〈個人名〉

奥寺千恵子様 宮内博文様  
 間宮悠紀雄様 宮本亮様  
 吉井真之様 熊谷由美子様

山岡みゆき様 田口敬子様  
 小林シゲル様 渡邊ひな子様  
 村山義光様 北野奈美恵様

個人合計 ¥84,440

〈団体名〉

J A M 様  
 J P 労働組東京地方本部様  
 U A ゼンセン山梨県支部様  
 岡山県貨物運送労働組様  
 基幹労働連様

交通労働連中国地方総支部青年・女性委員会様  
 三八五労働組様  
 三菱自動車工業労働組様  
 全九州産業交通労働組様  
 北海道中央バス労働組様

団体合計 ¥696,111

学校建設・補修募金個人・団体合計 ¥780,551

《高校生支援募金》

〈個人名〉

吉井真之様 山岡みゆき様  
 宮内博文様 石橋俊彦様  
 宮本亮様 足立ほうりゅう様

田口敬子様 板倉裕光様  
 渡邊ひな子様 有村利範様

個人合計 ¥77,500

〈団体名〉

住友重機械労働連様  
 基幹労働連様

J A M 様  
 U A ゼンセン山梨県支部様

団体合計 ¥405,000

高校生支援募金個人・団体合計 ¥482,500

募金総合計 ¥8,626,940

下記会員の皆様にも、年会費としてご支援いただきました。

期間：2015年11月1日～2016年10月31日

(順不同)

〈個人名〉

奥寺千恵子様  
 河瀬義則様  
 間宮悠紀雄様

三郎丸智子様  
 山岡隆文様  
 山岡みゆき様

石橋俊彦様  
 浅利武男様  
 相馬末一様

田口敬子様  
 渡邊ひな子様  
 福田美秋様

